

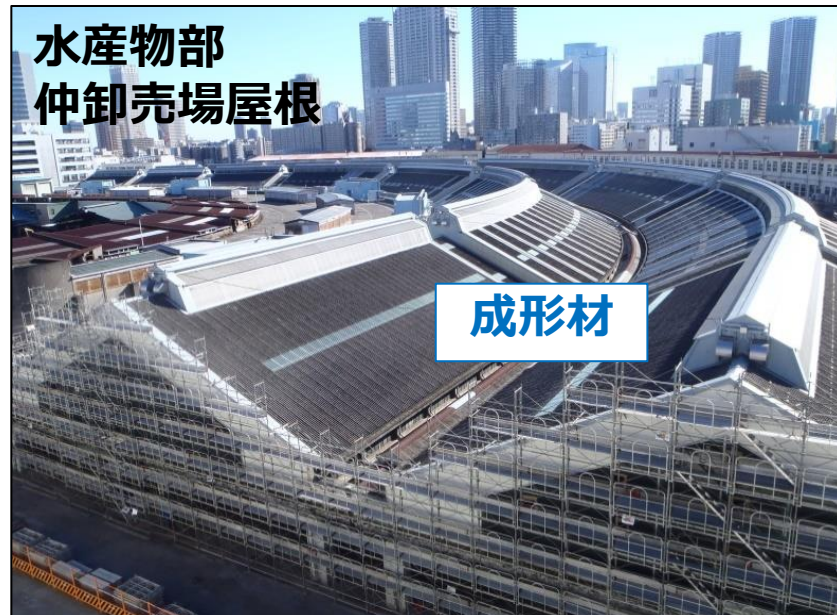
旧築地市場の解体工事における
アスベスト処理について

アスベスト含有建材について

アスベストは石綿（いしわた・せきめん）とも呼ばれる鉱物繊維です。アスベストは、耐熱性・耐薬品性・絶縁性に優れ、安価な工業材料であったことから、建設資材・電気製品・自動車など、幅広く利用されてきました。

建設資材としてのアスベストの主な用途は、建物の鉄骨柱・梁を火災から守る耐火被覆としての**吹付材**、外壁の**塗装材**、配管やダクト管の**保温材**、耐火被覆としての**貼付材**、内装材や屋根材として用いられる**成形板**等があります。

各アスベスト含有建材は、解体時に建材から発生するアスベストの飛散しやすさによって除去方法が定められています。最も飛散性が大きい**吹付材**については、対象部分を外部と厳重に隔離して除去を行います。



アスベスト含有建材の種類と除去方法

レベル1

飛散性大 吹付材

青果部屋上駐車場 2 階梁など

- アスベスト除去対象箇所を隔離して密閉(→p6)
 - ・ 負圧除じん装置で作業場内を負圧にし、アスベストの流出を防ぐ
 - ・ 作業員はセキュリティゾーンのみで出入りする
- 飛散抑制剤を塗布したうえで除去
- 専用袋で 2 重梱包し、処分施設に直送

レベル2

飛散性中 貼付材

水産物部第 3 卸売場 1 階梁など

- 飛散抑制剤を塗布したうえで除去
- 専用袋で 2 重梱包し、処分施設に直送

レベル2

飛散性中 保温材 (配管類)

冷温水管など

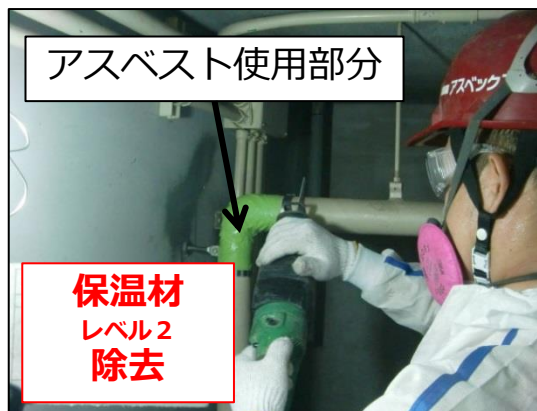
- アスベスト使用部分以外で切断
- 専用袋で 2 重梱包し、処分施設に直送

レベル3

飛散性小 成形板

水産物部仲卸売場屋根など

- 除去対象箇所を事前清掃・湿潤
- 手ばらし
- 袋詰め



旧築地市場内の主なアスベスト除去対象建物



※アスベスト処理面積2000㎡以上の建物を記載

旧築地市場内のアスベスト除去対象建物数

- アスベストについては現在さらに調査を実施中
- 天井裏などの建物内部は施工の段階に応じて調査・除去

工 区	解 体 棟 数	アスベスト処理棟数			
		合計(※)	レベル1	レベル2	レベル3
第1工区	13棟	6棟	1棟	1棟	6棟
第2工区	29棟	13棟	8棟	2棟	6棟
第3工区	25棟	12棟	8棟	1棟	10棟
第4工区	13棟	5棟	0棟	0棟	5棟
第5工区	58棟	29棟	7棟	0棟	27棟
第6工区	15棟	6棟	2棟	1棟	6棟
第7工区	2棟	1棟	0棟	0棟	1棟
合 計	<u>155棟</u>	<u>72棟</u>	26棟	5棟	61棟

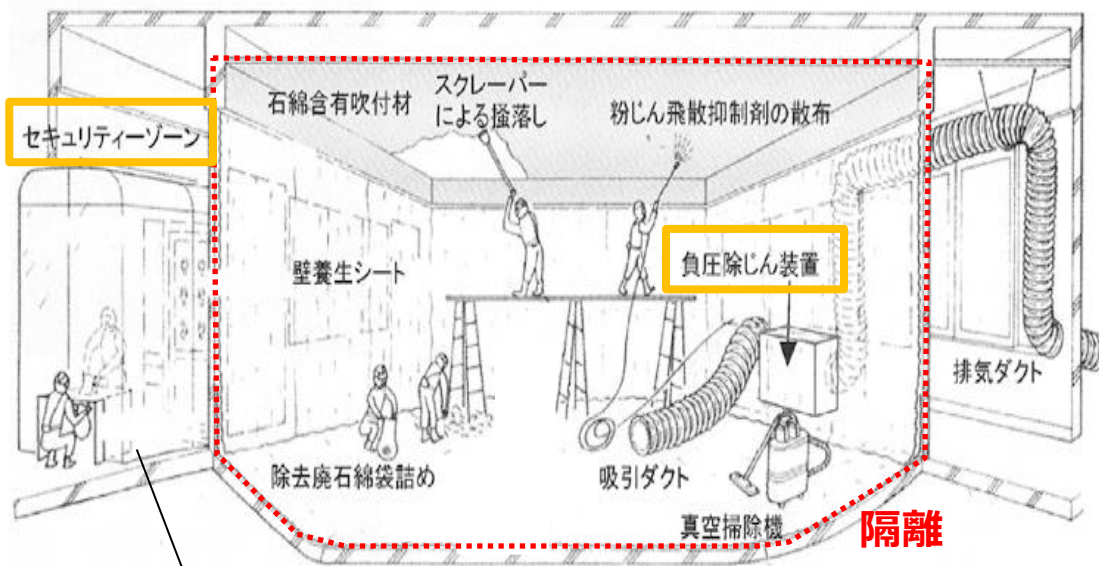
※一つの棟に複数のレベルを有するものがあり、合計は一致しない

※工事説明会時点では55棟だったが、その後の調査により現時点では72棟

作業場内の隔離について

レベル1・2

アスベスト除去イメージ

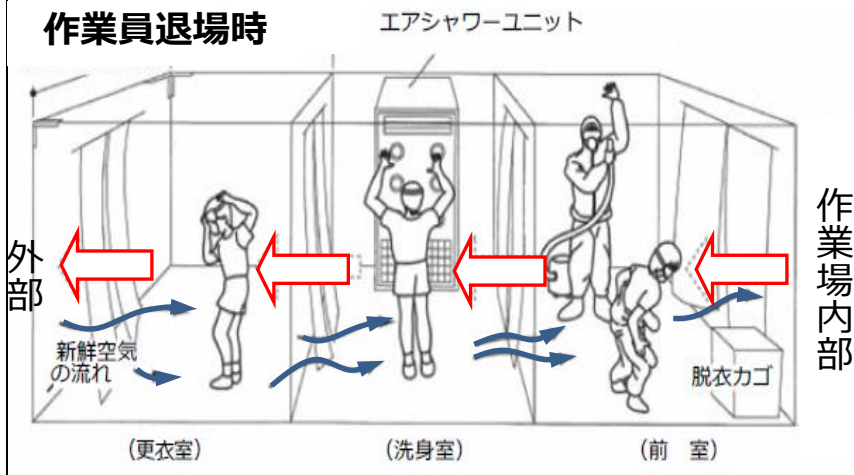


アスベスト除去対象箇所は養生シート（プラスチックシート）によって隔離し、負圧除じん装置とセキュリティゾーンを設けています。

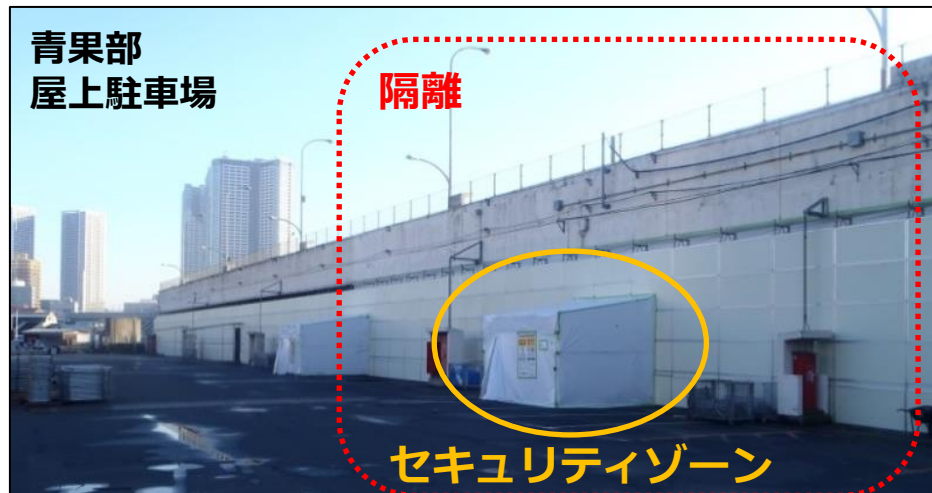
負圧除じん装置は、フィルターを通してアスベストを取り除くとともに、作業場内を負圧状態にすることでアスベストの流出を防ぎます。

セキュリティゾーンは、3層構造であり、作業員が出入りする際のアスベスト流出を防止する役割があります。また、作業で用いる保護服は使い捨てで、作業員はセキュリティゾーン内で脱いで外に出ます。

作業員退場時



青果部 屋上駐車場

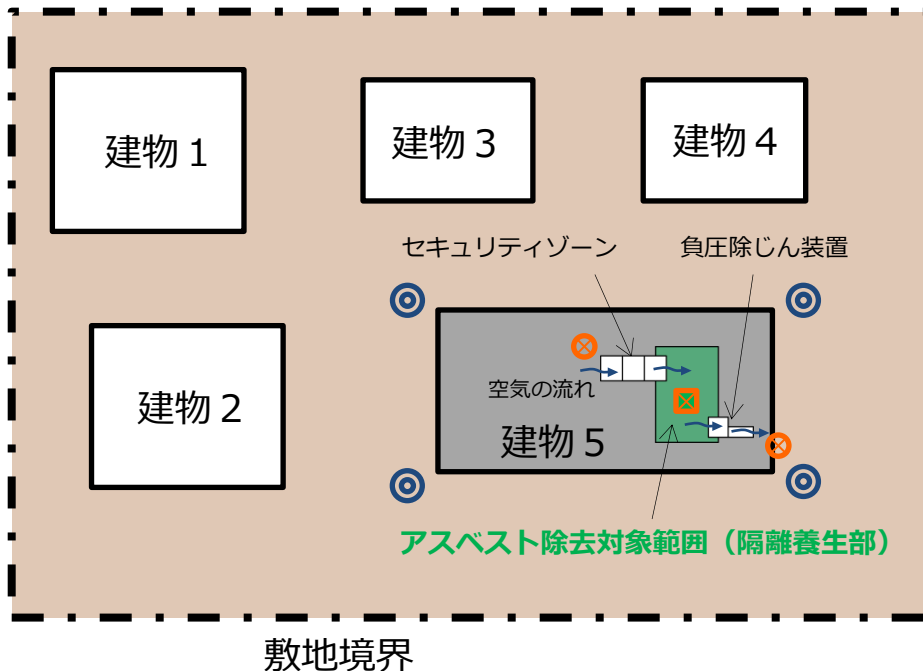


アスベスト粉じん濃度測定(当解体工事での取組)

【環境確保条例に基づく建物周辺での測定】

● 条例に基づき、解体工事におけるアスベスト粉じんの飛散防止対策が十分であるかを確認するため、除去作業前、作業中(※1)および作業後(※2)に、アスベスト除去対象建物の周辺で、アスベスト粉じん濃度測定を行っています(◎)。

(※1) 6日以上の場合は6日ごとに1回以上 (※2) 隔離養生撤去後



【対策の万全を期すための作業場近傍での測定】

● 当解体工事では、条例に基づく上記測定に加え、作業場の隔離状態等の飛散防止対策の実効性を確認し、対策の万全を期すため、除去作業中(※3)に作業場近傍での測定も実施しています(⊗)。

(※3) 6日以上の場合は6日ごとに1回以上

● さらに、除去作業後、作業場内にアスベストが浮遊していないことを確認してから、隔離養生を撤去しています(⊗)。

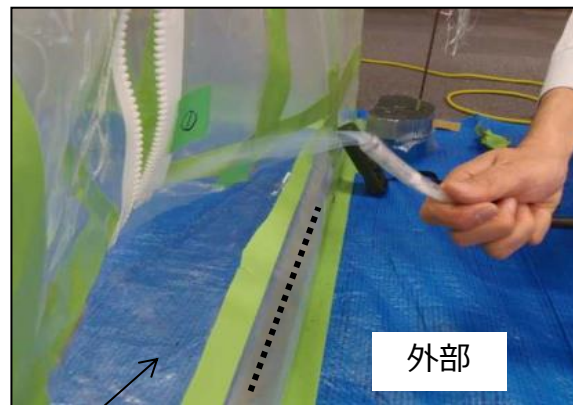
その他の隔離養生の監視

◎デジタル粉じん計(粉じん相対濃度計)の活用

持ち運びやすく、簡易的かつ迅速に空気中の粉じんを計測することができる本機器を用いて、現場監督員が巡回する際に、作業場の隔離が適切に行われていることを確認しています。

◎スモークテスターの活用

セキュリティゾーン前でスモークテスターを使用し、隔離養生設置後に、出入口から隔離養生内に向かって外気が流れていることを確認することで、隔離養生内の負圧状態が適切に保たれているか監視します。



セキュリティ
ゾーン内

参考写真

